



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月6日

上場会社名 アルコニックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3036 URL http://www.alconix.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹井 正人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画 (氏名) 手代木 洋 TEL 03-3596-7400
 本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	60,181	△9.7	1,232	△38.9	1,547	△25.3	901	△44.9
2019年3月期第1四半期	66,671	13.8	2,018	18.9	2,071	6.3	1,635	13.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 998百万円 (38.4%) 2019年3月期第1四半期 721百万円 (△38.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	35.67	—
2019年3月期第1四半期	63.25	—

(注) 2020年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。2019年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の権利行使期間満了に伴い、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	145,079	39,873	26.3
2019年3月期	143,851	39,673	26.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 38,090百万円 2019年3月期 37,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	19.00	—	20.00	39.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	21.00	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2019年8月6日）に公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	137,000	5.6	3,100	△19.1	3,200	△14.6	2,100	△24.1	83.27
通期	266,000	3.3	6,800	8.7	7,000	11.9	4,700	17.2	186.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2020年3月期の連結業績予想については〔添付資料〕4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー 社（社名）、除外 ー 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、[添付資料] 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	25,882,200株	2019年3月期	25,882,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	661,769株	2019年3月期	437,635株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	25,277,286株	2019年3月期1Q	25,866,934株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界の経済環境は、米中間の貿易摩擦や中国経済の減速、英国のEU離脱交渉の難航により景況感に不透明感が強まってきております。

我が国の経済は雇用所得の改善は持続する一方、中国経済減速の影響等により企業収益並びに輸出が鈍化したものの、景気は総じて安定的な基調が持続いたしました。

当社グループを取巻く関連業界は、自動車関連においては電装化、軽量化、自動運転技術といった需要の多角化が進行しておりますが、中国経済の減速により需要は減少いたしました。また、半導体・電子部品関連では、IoT、AI等におけるデータ量の増加や自動車の電装化進行による業界を横断した市場の拡大傾向は続くものの、スマートフォン並びに半導体製造装置向け需要は減少いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、半導体実装装置、並びに自動車関連における製造子会社の業績は堅調に推移した他、2019年1月より連結収益に取込んだ東北化工株式会社のブレーキ摩擦材向けカシュー樹脂製品が収益面では寄与いたしました。また、レアメタル並びに国内流通子会社、及び装置材料事業における収益が前年同期に比べ減少いたしました。また、当第1四半期連結累計期間より連結収益に取込んだ株式会社富士カーボン製造所の小型モーター向けカーボンブラシは、国内外の自動車関連需要の減少により当初の計画を下回る水準で推移いたしました。なお、利益面においては上記減収要因の他、レアメタルの一部の在庫において、たな卸資産評価損の計上を余儀なくされ、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結経営成績は、売上高60,181百万円（前年同期比9.7%減少）、営業利益1,232百万円（同38.9%減少）、経常利益1,547百万円（同25.3%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益901百万円（同44.9%減少）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。また、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

・商社流通－電子機能材事業

スマートフォン、タブレット端末向け部材は、需要低迷が継続する中で、取扱いは前年同期に比べ微増にとどまりました。また、二次電池関連部材並びに環境関連部材の需要は底堅く推移し、チタン・ニッケル製品も欧州向けを中心に前年同期に比べ増加いたしました。また、レアメタル・レアアースについては、中国経済の減速により需要が停滞し、また市況下落の影響もあり取扱いは大きく減少いたしました。なお、一部のレアメタルの在庫に対して、たな卸資産評価損の計上を余儀なくされたことにより、セグメント利益は損失となりました。

この結果、当セグメントにおける売上高は18,929百万円（前年同期比16.1%減少）、セグメント損失は14百万円（前年同期は301百万円のセグメント利益）となりました。

・商社流通－アルミ銅事業

製品分野においては、自動車の電装化・軽量化に伴う非鉄需要の増加トレンドに変化はないものの、米中貿易摩擦の影響による中国の景気後退が顕著となり、自動車並びに半導体の生産動向に鈍化が見られました。またピークシーズンである空調機器関連の需要も天候不順により前年同期に比べ低調に推移いたしました。一方、原料分野においては、当第1四半期連結累計期間におけるアルミ・銅等の非鉄相場が下落し、また、景況が悪化したことにより、主力のアルミ再生塊、黄銅棒の取扱いが減少いたしました。なお、収益面では需要減に加え非鉄原料の相場調整局面が続く収益を圧迫いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は31,696百万円（同8.8%減少）、セグメント利益は306百万円（同23.8%減少）となりました。

・製造－装置材料事業

めっき材料においては中国経済の減速による需要減少と市況下落の影響により、北米、中国の両拠点は共に出荷が前年同期に比べ減少いたしました。またブレーキ摩擦材向けカシュー樹脂製品は当初の見込み通りに推移いたしました。また、当第1四半期連結累計期間より連結収益に取込んだ株式会社富士カーボン製造所の小型モーター向けカーボンブラシについては国内外の自動車関連の需要減少により、国内並びに海外法人における収益が当初の計画を下回りました。なお、非破壊検査装置及びマーキング装置分野においては、国内の装置出荷は堅調でありましたが、海外法人において主要顧客向け探傷剤等消耗品の出荷が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は6,073百万円（同9.9%増加）、セグメント利益は25百万円（同92.2%減少）となりました。

・製造－金属加工事業

半導体実装装置向け研削加工部品は実装装置需要が堅調に推移し、出荷は前年同期を上回りましたが、精密切削加工部品は半導体製造装置需要の減少により出荷は前年同期に比べ減少いたしました。また、自動車向け金属精密プレス部品は、新規受注並びに試作品を中心とした出荷が前年同期に比べ増加いたしました。なお利益面では、持分法適用関連会社の持分法による持分法投資利益を計上し、セグメント利益は前年同期に比べ増益となりました。

この結果、当セグメントにおける売上高は5,276百万円（同1.1%増加）、セグメント利益は1,214百万円（同16.9%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

a. 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は104,904百万円であり、前連結会計年度末比674百万円の増加となりました。主な内訳は受取手形及び売掛金の減少69百万円、たな卸資産の減少531百万円、現金及び預金の増加1,839百万円であります。

b. 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は40,174百万円であり、前連結会計年度末比552百万円の増加となりました。主な内訳は、有形固定資産、及びのれんを含む無形固定資産の償却等による減少449百万円、及び投資その他の資産の増加1,001百万円であります。

c. 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は76,175百万円であり、前連結会計年度末比1,253百万円の増加となりました。主な内訳は支払手形及び買掛金の減少280百万円、短期借入金の増加451百万円、及び1年内返済予定長期借入金の減少80百万円であります。

d. 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は29,030百万円であり、前連結会計年度末比225百万円の減少となりました。主な内訳は長期借入金の減少155百万円であります。

e. 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は39,873百万円であり、前連結会計年度末比199百万円の増加となりました。主な内訳は利益剰余金の増加392百万円、その他有価証券評価差額金の減少104百万円、及び為替換算調整勘定の増加166百万円であります。

②経営成績

a. 売上高

売上高は製造の金属加工で増収となったものの、商社流通セグメントでの減収が響き、グループ全体では減収となりました。取扱品並びに製品別でみると、商社流通では、銅スクラップ、電池用鉛地金、車載並びにスマートフォン・タブレット端末向け電池・電子材料、チタン展伸材の輸出取引が前年同期に比べて増加いたしました。アルミ圧延品、伸銅品、アルミ再生塊等の非鉄原料の取扱いは減少いたしました。

製造では半導体実装装置向け研削加工部品、及び金属精密プレス部品が前年同期に比べ増加した他、当第1四半期連結累計期間より連結収益に取込んだ株式会社富士カーボン製造所の小型モーター向けカーボンブラシ、並びに2019年1月より連結収益に取込んだ東北化工株式会社のブレーキ摩擦材向けカシュー樹脂製品が連結業績に寄与いたしました。一方、めっき材料、半導体製造装置向け精密切削加工部品、非破壊検査装置並びにマーキング装置の出荷は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比9.7%減少の60,181百万円となりました。

b. 売上総利益

商社流通並びに製造の装置材料における減収に伴う減益の他、レアメタルの一部在庫において、たな卸資産評価損を計上したことにより、当第1四半期連結累計期間における売上総利益は前年同期比12.1%減少の4,568百万円となりました。

c. 販売費及び一般管理費

製造子会社2社を連結子会社化したことにより、当第1四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は前年同期比4.9%増加の3,336百万円となりました。

d. 営業利益

上記の結果、当第1四半期連結累計期間における営業利益は前年同期比38.9%減少の1,232百万円となりました。

e. 営業外収益、営業外費用

受取配当金の増加、持分法による持分法投資利益の増加、為替差益等により、営業外収支（営業外収益－営業外費用）は314百万円の収入超となりました（前年同期は53百万円の収入超）。

f. 経常利益

上記の結果、当第1四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比25.3%減少の1,547百万円となりました。

g. 特別利益、特別損失

補助金収入等の特別利益11百万円を計上する一方、固定資産除却損の特別損失3百万円を計上いたしました。

h. 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益1,555百万円から法人税等633百万円、連結子会社10社における非支配株主に帰属する四半期純利益20百万円を差引き、当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比44.9%減少の901百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、2019年5月17日の「2019年3月期決算短信[日本基準]（連結）」で公表いたしました通期連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,600	25,440
受取手形及び売掛金	47,055	46,986
商品及び製品	25,212	23,897
仕掛品	2,866	3,532
原材料及び貯蔵品	1,595	1,712
その他	4,599	4,057
貸倒引当金	△700	△722
流動資産合計	104,230	104,904
固定資産		
有形固定資産	18,804	18,634
無形固定資産		
のれん	3,714	3,557
その他	4,036	3,913
無形固定資産合計	7,750	7,471
投資その他の資産	13,066	14,068
固定資産合計	39,621	40,174
資産合計	143,851	145,079
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,727	34,446
短期借入金	28,921	29,373
1年内返済予定の長期借入金	5,240	5,160
1年内償還予定の社債	149	149
未払法人税等	931	701
賞与引当金	1,058	957
その他	3,894	5,387
流動負債合計	74,922	76,175
固定負債		
社債	525	450
長期借入金	23,571	23,415
繰延税金負債	2,401	2,369
役員退職慰労引当金	932	747
退職給付に係る負債	851	784
長期未払金	30	340
その他	941	922
固定負債合計	29,255	29,030
負債合計	104,177	105,206

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,968	2,968
資本剰余金	1,990	1,990
利益剰余金	30,725	31,118
自己株式	△516	△800
株主資本合計	35,166	35,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	513	409
繰延ヘッジ損益	△23	△6
為替換算調整勘定	2,244	2,411
その他の包括利益累計額合計	2,734	2,814
新株予約権	10	14
非支配株主持分	1,761	1,768
純資産合計	39,673	39,873
負債純資産合計	143,851	145,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	66,671	60,181
売上原価	61,471	55,613
売上総利益	5,199	4,568
販売費及び一般管理費	3,181	3,336
営業利益	2,018	1,232
営業外収益		
受取利息	58	42
仕入割引	4	4
受取配当金	195	235
為替差益	—	17
不動産賃貸収入	20	20
持分法による投資利益	46	62
屑売却益	63	60
その他	59	115
営業外収益合計	447	559
営業外費用		
支払利息	157	181
売上割引	2	2
為替差損	190	—
手形売却損	7	6
不動産賃貸原価	4	4
その他	32	50
営業外費用合計	394	244
経常利益	2,071	1,547
特別利益		
固定資産売却益	0	0
新株予約権戻入益	1	—
投資有価証券売却益	36	0
助成金収入	3	3
補助金収入	154	8
その他	—	0
特別利益合計	196	11
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	3
投資有価証券売却損	1	—
特別損失合計	2	3
税金等調整前四半期純利益	2,265	1,555
法人税等	570	633
四半期純利益	1,695	922
非支配株主に帰属する四半期純利益	59	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,635	901

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,695	922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△277	△106
繰延ヘッジ損益	65	16
為替換算調整勘定	△719	156
持分法適用会社に対する持分相当額	△42	9
その他の包括利益合計	△974	76
四半期包括利益	721	998
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	700	981
非支配株主に係る四半期包括利益	20	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
外部顧客に対する売上高	21,436	34,605	5,488	5,141	66,671
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,111	146	36	77	1,371
計	22,548	34,751	5,524	5,219	68,043
セグメント利益	301	401	332	1,038	2,075

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,075
セグメント間取引消去	△3
四半期連結損益計算書の経常利益	2,071

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
外部顧客に対する売上高	18,247	30,651	6,050	5,232	60,181
セグメント間の内部売上高又は振替高	681	1,044	23	44	1,793
計	18,929	31,696	6,073	5,276	61,975
セグメント利益又は損失(△)	△14	306	25	1,214	1,532

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,532
セグメント間取引消去	14
四半期連結損益計算書の経常利益	1,547